

両市の統計データ比較(表3)

項目	市名	彦根	長浜
面積	98.15 km <sup>2</sup>	45.46 km <sup>2</sup>	
人口密度	1,022人/km <sup>2</sup>	1,219人/km <sup>2</sup>	
世帯	31,262世帯	16,188世帯	
人口構成	100.00%	56.427人	
少子化率(人口)	124,682人	86,189人	
年代別	0～14歳 20.1%	19.6%	
	15～24歳 15.4%	14.2%	
	25～64歳 51.9%	52.8%	
	65歳以上 12.5%	13.4%	
雇用率	54.4%	4.6%	
失業率	41.6%	44.2%	
労働者比率	52.4%	50.9%	
星間人口比率	104.12%	107.18%	
賃料	240 億円	156 億円	
財政力指標	0.91	0.79	
公債償還率	10.7%	11.6%	
工業出荷額	4,224億円	8,186億円	
小売店数	1,428店	1,043店	
小売販賣額	1,285億円	895億円	
飲食店数	310店	181店	
飲食店販賣額	81億円	40億円	
金融機関数	33店	20店	
銀行本店数	16店	6店	
銀行預金額	2,348億円	1,527億円	
銀行貸付額	1,077億円	685億円	
有効販賣額(人当り)	294.0万円	284.5万円	
新規就業者(人当り)	99人	94人	
新規就業者率(年)	0.92%	1.03%	
新規就業者率(年)	—%	—%	
新規就業者(人当り)	7.71	7.55	
新規就業者率(年)	69.3%	70.2%	
新規就業者(人当り)	1,16.7	141.2	
新規就業者率(年)	1,457人	1,427人	
新規就業者(人当り)	1,060人/100人	1,078人/100人	
新規就業者率(年)	3%	3%	
新規就業者(人当り)	126人	132人	
新規就業者率(年)	1,28人/100人	1,38人/100人	
新規就業者(人当り)	175人	167人	

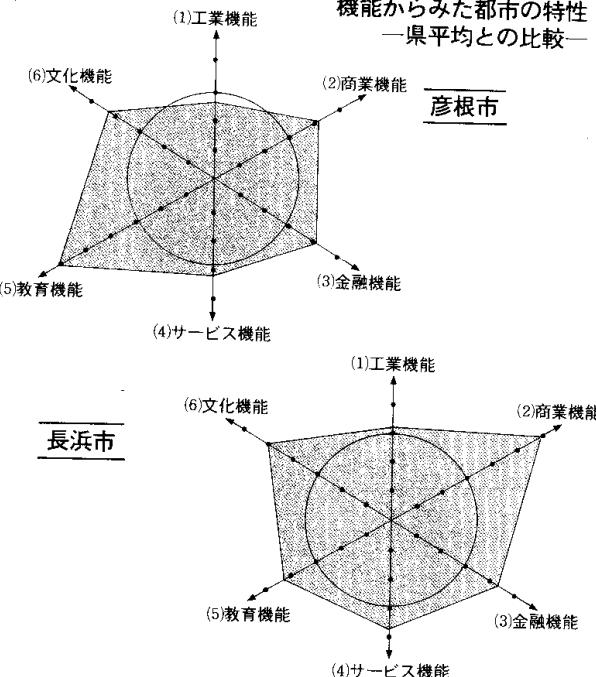
(表1～3は東洋経済新報による)

成長力・民力度比較(表2)

項目	彦根	長浜
総合順位	103.7	99.3
総合評価	2.55	4.01
消費実力	107.3	97.5
工業生産	106.4	109.9
商業生産	100.5	94.2
総合順位	104.1	118.6
総合評価	100.9	116.6
総合順位	136	23
消費実力	93.8	105.8
工業生産	163.0	218.1
商業生産	79.8	106.2

住みよい都市ランキング比較(表1)

項目	彦根	長浜
順位	56	25
総合評価	6.47	6.73
ランク	A	A
安堵度	27.9	10.6
ランク	B	A
利便度	74	9
ランク	A A A	A A A
快適度	194	288
ランク	A	B
富庶度	110	195
ランク	A A	A

機能からみた都市の特性  
一県平均との比較

彦根と長浜。関ヶ原の合戦以来、何かと張り合うことの多いびわ湖の雄都。一方は、井伊家三十五万石の城下町。一方は、町衆の自治によって運営されてきた町。近くて遠いこの町を、ちょっと視点を変えて見てみれば、今まで気づかなかつたものも見えてくるのではないでしようか。

# 近づかぬ根と長浜

長浜市 人口 56,213人(93.6.1現在)  
面積 45.49km<sup>2</sup>



彦根市 人口 102,093人(93.6.1現在)  
面積 99.33km<sup>2</sup>

## 大学の彦根 商業の長浜

先頃、東洋経済新報社が発表した「住みよい都市ランキング」では、総合評価で長浜は全国二十五位、彦根は五十六位でした。二倍以上の開きがあるよう思つても、ポイントでいえば〇・二六ポイントの差。ともにAランクですから、実際はほとんど差がないと言つていいでしょう。(表1)

一方、同社が別に発表している成長力と民力度では、はつきりとした違いがうかがえます。簡単に言えば、ストックは低いが伸び率の高い彦根と、ストックは高いが伸び率がいまいちの長浜、といったところでしょうか。

(表2)

